

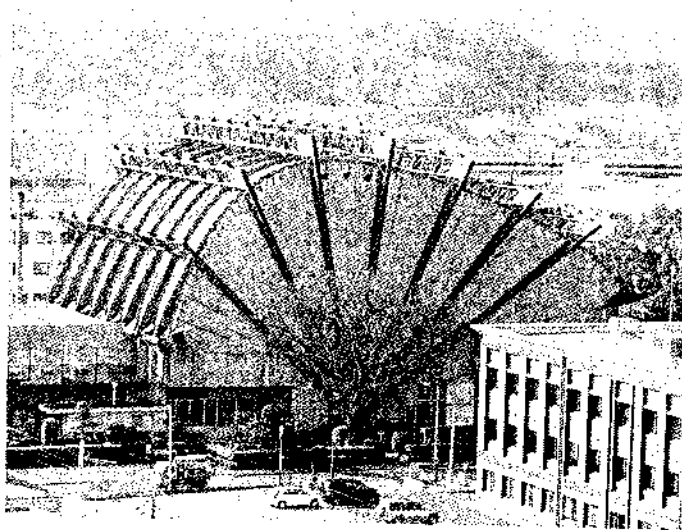
解体決定の都城市民会館

近代建築十選に内定

都城市が解体を決めている市民会館が、近代建築の保存活動や記録調査をしている「DOCOMOMO JAPAN」(ドコモモジャ

06年度、NGO

パン」の二〇〇六年度建築十選に内定した。建築学会で承認後、同学会との連名で七月(土)に正式発表される。



ドコモモジャパンの「2006年度選定建築10選」に内定した都城市民会館

市は方針に変更なし

ドコモモは、パリが本部の非政府組織(NGO)。日本組織は〇三年、国立代々木競技場や国立劇場などを近代建築百選に選んだ。順次、選定建築を発表、リスト拡大を目指している。

同会館は、世界的建築家菊竹清訓氏の設計で、一九六六(昭和四十一)年に開館した。扇形の屋根と放射状に伸びたはり特徴。だが、老朽化や新ホール開館に伴い、維持・運営費が問題化。市民団体は保存を訴えたが、市民アンケートで解体が83%となり、市は二月に解体を発表した。

ドコモモジャパンは、同会館について「戦後の日本や海外の建築界に大きな影響を与えたメタボリズム(代謝)」という考え方を具現化した代表的

な建物。地方に存在した「選定に値する」として「意義も大きい」と評価。市は「市民意見交換会」や意識調査など手順を踏「はな」ではない」としている。

「解体については「承知しているが、現存しており、や意識調査など手順を踏「はな」ではない」としている。

「選定に値する」として「意義も大きい」と評価。市は「市民意見交換会」や意識調査など手順を踏「はな」ではない」としている。

「解体については「承知しているが、現存しており、や意識調査など手順を踏「はな」ではない」としている。

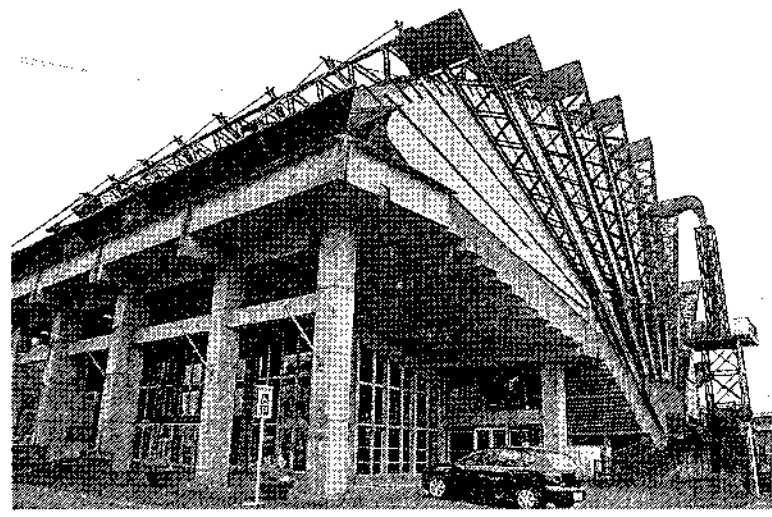
10月4日 2007.1.1

もっと身近に 地域のニュース

06年度の近代建築10選

都城市民会館が内定

20世紀近代建築の調査、保存などに取り組む「国際組織DOCOMOMO」(ドコモモ、本部・パ



「日本を代表する近代建築」に内定した都城市民会館。年度内の取り壊しが決まっている

リ)の日本支部DOCOMOMOジャパン(代表

・鈴木博之東大大学院教授)は、取り壊しが決まった都城市民会館を「06年度選定建築物10選」に内定した。連携する日本建築学会の建築歴史・意匠委員会、理事会の承認を経て正式決定する。

建築も新陳代謝するといふ「メタボリズム」の理論を具現化した、日本を代表する近代建築——というのが理由。06年度に選定作業を進め、4月の総会で他の9件とともに内定した。正式決定すると「日本におけるDOCOMOMO100選」(現在は115選)のリストに搭載、世界の代表的近代建築を集めたDOCOMOMOのデータベ

ース(オランダ)にも記録保存される。

都城市民会館で市は、年度内の解体を決定。これに対しDOCOMOMOジャパンや日本建築学会九州支部は、保存を求

メガネ・補聴器
 御用命は御電話でもどうぞ
メガネの高田
 橋通西2-4-15 ☎0985(24)9326・回有

める要望書を市に提出していた。DOCOMOMOジャパンの兼松紘一郎幹事長(67)「東京都は「素晴らしい建築を何とか残してほしい」と話している。

【木元六男】

0985-24-9326

近代建築保存NGO10選

解体の都城市民会館も

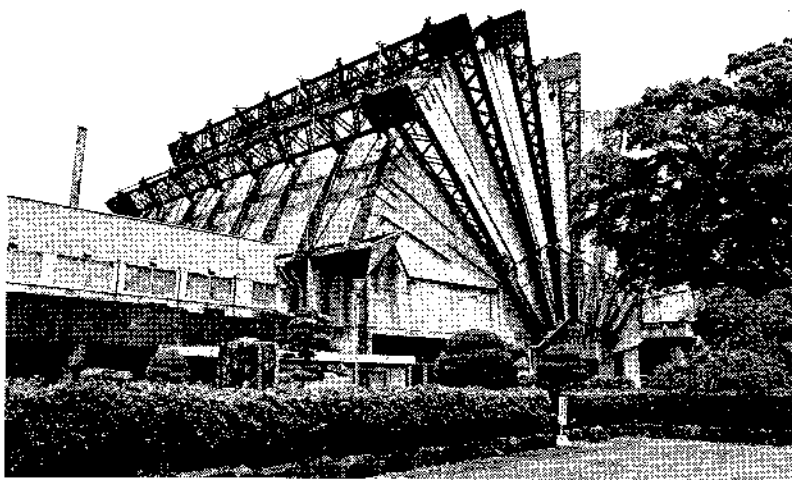
日本近代建築の調査保存活動などを行っている非政府組織(NGO)「DOCOMOMOジャパン」(東京都、鈴木博之代表)は、都城市が本年度中の解体を決定している同市民会館を、二〇〇六年度の選定建築物十選に内定した。

全国の建築史的価値が高い近代建造物を対象に会員の建築家らが選定。四月に神奈川県で開いた総会で他の九件とともに決めた。日本を代表する建築家菊竹清訓さんが設計し、日本のモダニズム建築を代表する建物であることから選ばれた。

日本建築学会(村上周一会長)の建築歴史・意匠委員会と理事会で承認され、夏ごろに正式決定する。「日本におけるDOCOMOMO100選」に載り、オランダ建築博物館で保存する世界

各国の近代建築に関する資料にも記録される。

同市民会館は一九六六(昭和四十一)年開館。老朽化も進み、昨年十一月の同市総合文化ホール開館で役割を終えたとして、市が今年二月に解体を決定。同組織は昨年末、建築史的価値を指摘し市に保存要望書を提出していた。



DOCOMOMOジャパンの2006年度選定建築物10選に内定した都城市民会館